

令和6年度 第1回小山市民フォーラム「子育てにやさしいまちを考えよう」意見(要約)

日時: 令和6年9月 29 日(日)10:00~12:30

会場: 小山市役所 6 階 大会議室

出席者: 参加者 29名

参加者(運営委員含む)の意見(要約)

A グループ:地域との関わり

(現状・課題・理想の姿)

- ・地域と上手く関わっていない
- ・知らない人に話しかけないようにと学校で言われており、地域との関わりの支障となっている
- ・地域で子どもを見るうえで、ボランティアが集まらない
- ・地域で何をやっているかの情報が得られない
- ・世代間交流に慣れていない

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・ほどよい距離感でのつながりを作っていくことが地域での子育てにつながる
- ・ボランティアを無償でやることに限界がきているため、有償化が必要になってくる
- ・地域で何を行っているかの情報発信と、イベント開催後のフィードバックを発信する
- ・世代間交流をするうえで、育ってきた環境が違うので、現状に合わせた学び直しが必要

B グループ:子どもの預け先や居場所

(現状・課題・理想の姿)

- ・安心・安全に子どもを預けられる場所がほしい
- ・子どもを見ることの負担や責任は大きいですが、給与は高くないため、人手不足が問題となり、子どもを預けられる場所が少なくなる
- ・ファミリーサポートの利用方法や仕組みがわかりにくく、使いにくい
- ・預け先が学童くらいしかない
- ・父親の子育てや家事のスキルアップが必要

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・子どもの預け先や居場所を受け入れる側の給与を手厚くすべき
- ・ロブレや公民館等の施設を活用して子どもの居場所を作る
- ・学童だけでなく、利用者が使い分けできる多様な場所があればよい
- ・父親向けにスクールや講座を開く

C グループ:子どもの遊び場

(現状・課題・理想の姿)

- ・児童館は、年齢差のある兄弟がいると一緒に遊べないこともあり、スタッフも支援をしてくれないため、使いにくい
- ・今は親がどこにでもついていかなければならず、遊びにくい時代
- ・遊び場ができて、その場へ行く交通手段がない場合がある(首都圏通勤をしている人など)
- ・放課後子どもだけで遊ぶ環境が整っていない

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・児童館スタッフの支援が手厚くなればよい

- ・すべて自己責任で遊ぶプレーパークを小山市にもつくる
- ・遊び場を各地域につくるか、移動手段を充実させる
- ・遊び場を作ることも大事だが、親同士や家庭内での問題を考える必要がある

D グループ:学校に行けない子どものケア

(現状・課題・理想の姿)

- ・コロナの影響により子ども同士のコミュニケーションが減り、思いを吐き出す機会がない
- ・子どもが悩みを相談する場所がない
- ・学校に行けないというだけで悪いレッテルをはられてしまう
- ・学校へ行けない子どもが属する場所がない

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・学校へ行けなくなる前に、相談できる大人(知り合い、親戚、先生)を増やし、誰かが話を聞いてあげる
- ・子どもだけでなく、親の心のケアも大事にする
- ・学校に行けないことは悪いことではないので、そういう子供を受け入れる場所をオンライン授業や通信教育などを活用し、作っていく
- ・古い考えに固執せず、大人・社会が変わらないといけない

E グループ:安心して出産できる環境づくり

(現状・課題・理想の姿)

- ・産院、産み方、働き方の選択肢が少ない
- ・市の子育て支援が使いにくい
- ・子どもの年齢によって集まれる場所や、預けたいだけの人やママ友を作りたい人などの目的に応じた場所をつくってほしい
- ・子連れだとお店などで周りの目が優しくなく、気にしなくてははいけない

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・子育て世代が中心となって「子育てしやすい小山市」を PR する
- ・LINE での情報共有や、プレママさんへ向けた情報発信をする
- ・子育てにやさしい店の一覧をつくる

F グループ:男性の育児

(現状・課題・理想の姿)

- ・父親と母親の子育てに対する温度差があるため、父親は手伝うのではなく自分事として捉えてほしい
- ・自営業に育休はない
- ・父親同士のコミュニティが少ない
- ・男性向けの子育て情報が欲しい

(課題解決・理想の姿に近づくための提案)

- ・夫婦で話し合いの時間を設ける
- ・将来的な観点を見据えて、男性が育休を取りやすい環境を作っていく
- ・父親だけの参観日を設ける
- ・父親のコミュニティを作る